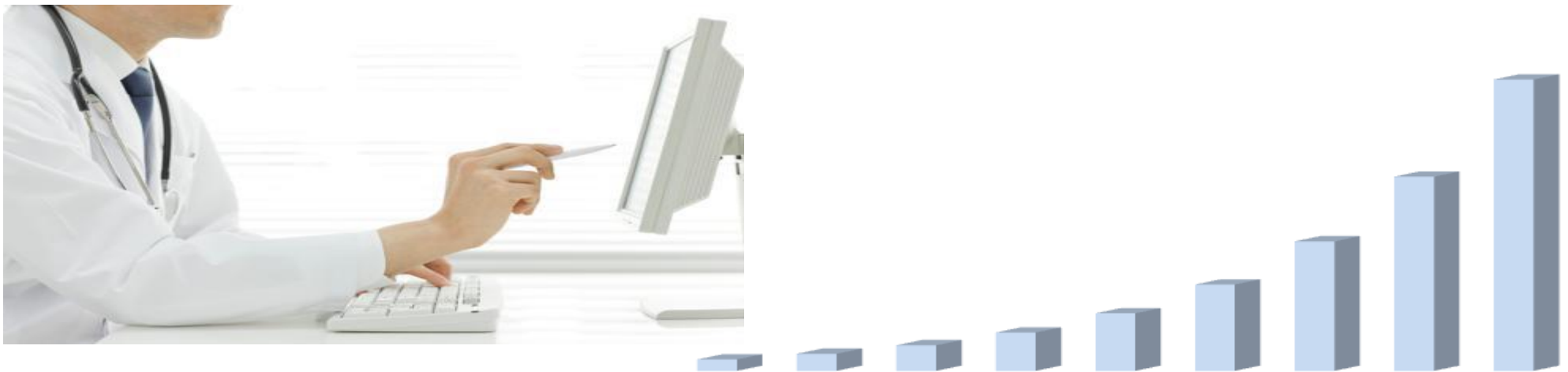


ソフトマックス株式会社

2020年12月期 第2四半期 決算説明資料

2020年10月5日



I	会社紹介	… 2
II	業績報告	… 8
III	事業環境等	…12
IV	今後の成長戦略	…15



I. 会社紹介

ソフトマックスとは



会社概要①



◆ 本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー7階
◆ 本店	鹿児島市加治屋町12-11
◆ 代表者	代表取締役会長兼社長 野村 俊郎 代表取締役副社長 松島 努
◆ 設立	1974年1月
◆ 事業内容	総合医療情報システム開発・販売・導入指導・保守
◆ 資本金	4億2425万円 (東京証券取引所マザーズ上場2013年3月12日)
◆ 従業員数	181名(2020年6月30日現在)
◆ 主な事業所	東京本社、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、本店営業部など(本店開発含め 計15拠点)



沿革

2017年 医事会計システム「PlusUs-医事V10」をリリース

2016年 データセンターを利用した広域クラウドシステム稼働

2013年 東京証券取引所マザーズ市場へ上場

2011年 Web型電子カルテシステム「PlusUs カルテV3」リリース

2004年 本社を東京都中央区に開設(2016年品川区に移転)

2004年 電子カルテシステム「PlusUs カルテV1」リリース

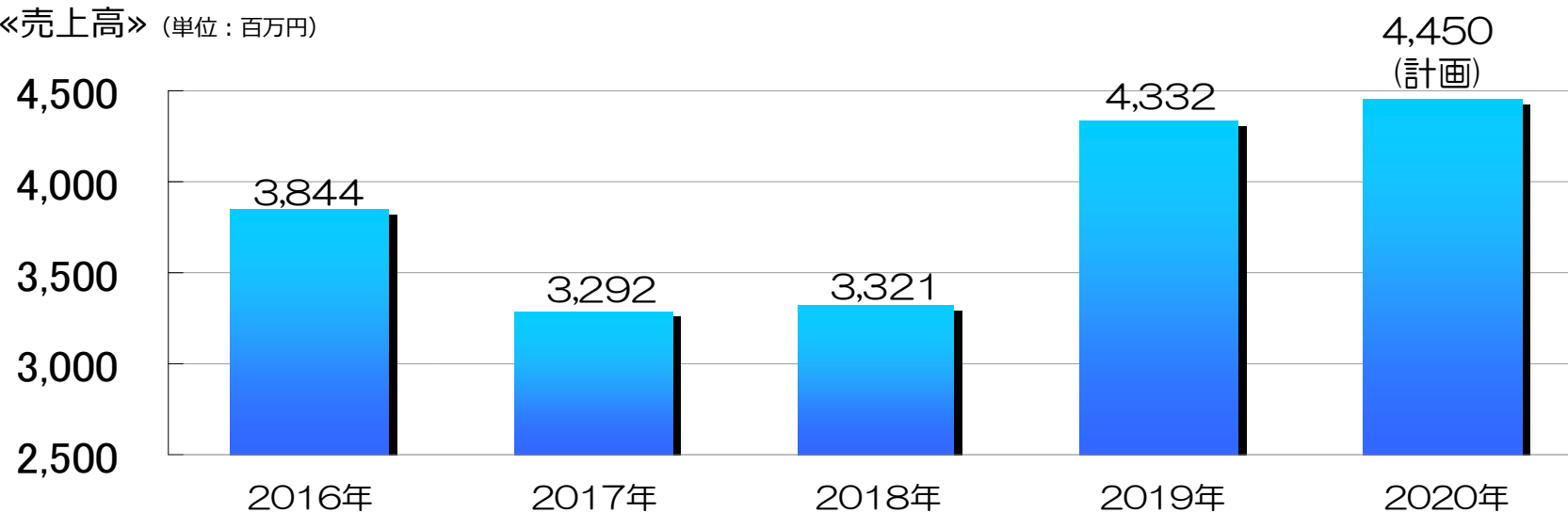
2002年 オーダリングシステム「PlusUs オーダV1」リリース

2001年 厚労省「保健医療分野の情報に向けてのグランドデザイン」策定
→ 電子カルテの推進が始まる

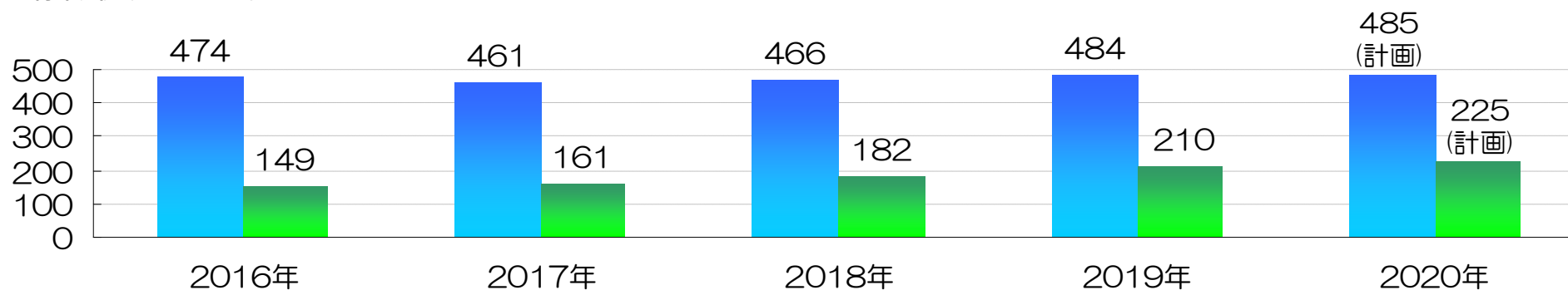
1978年 医事会計システム「V1」リリース



《売上高》 (単位:百万円)



《稼働状況》 (単位:件)



■ PlusUs医事

■ PlusUsカルテ・オーダ



要約

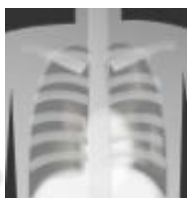
- ① 設立から46年と歴史は長く、上場企業として、質の高いサービスをご提供
- ② 開発から納入、サポートまで自社で一貫して行える体制
- ③ 他社に先駆けてWEB型電子カルテシステムを販売。稼働先は順調に増加し、豊富なノウハウと営業基盤
- ④ 拠点を全国各地に有することで移動制限等の地域リスクの影響を受けにくい事業展開



▶▶ 病院における当社システムの使用フロー



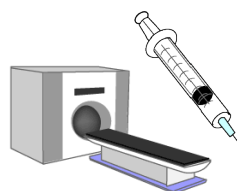
電子カルテシステム



- ・患者基本情報
- ・所見入力
- ・インフォームドコンセント※1



オーダリングシステム



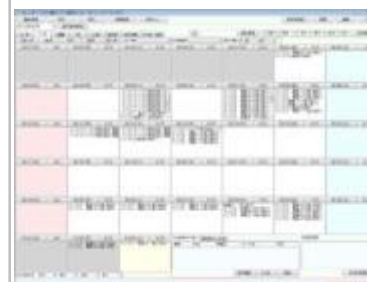
- ・処方
- ・注射
- ・処置
- ・検査



部門支援システム



- ・健診部門
- ・放射線部門
- ・リハビリ部門
- ・手術部門
- ・病院物品
- ・看護勤務



医事会計システム



- ・オーダ受信
- ・算定
- ・会計処理
- ・レセプト電算処理※2

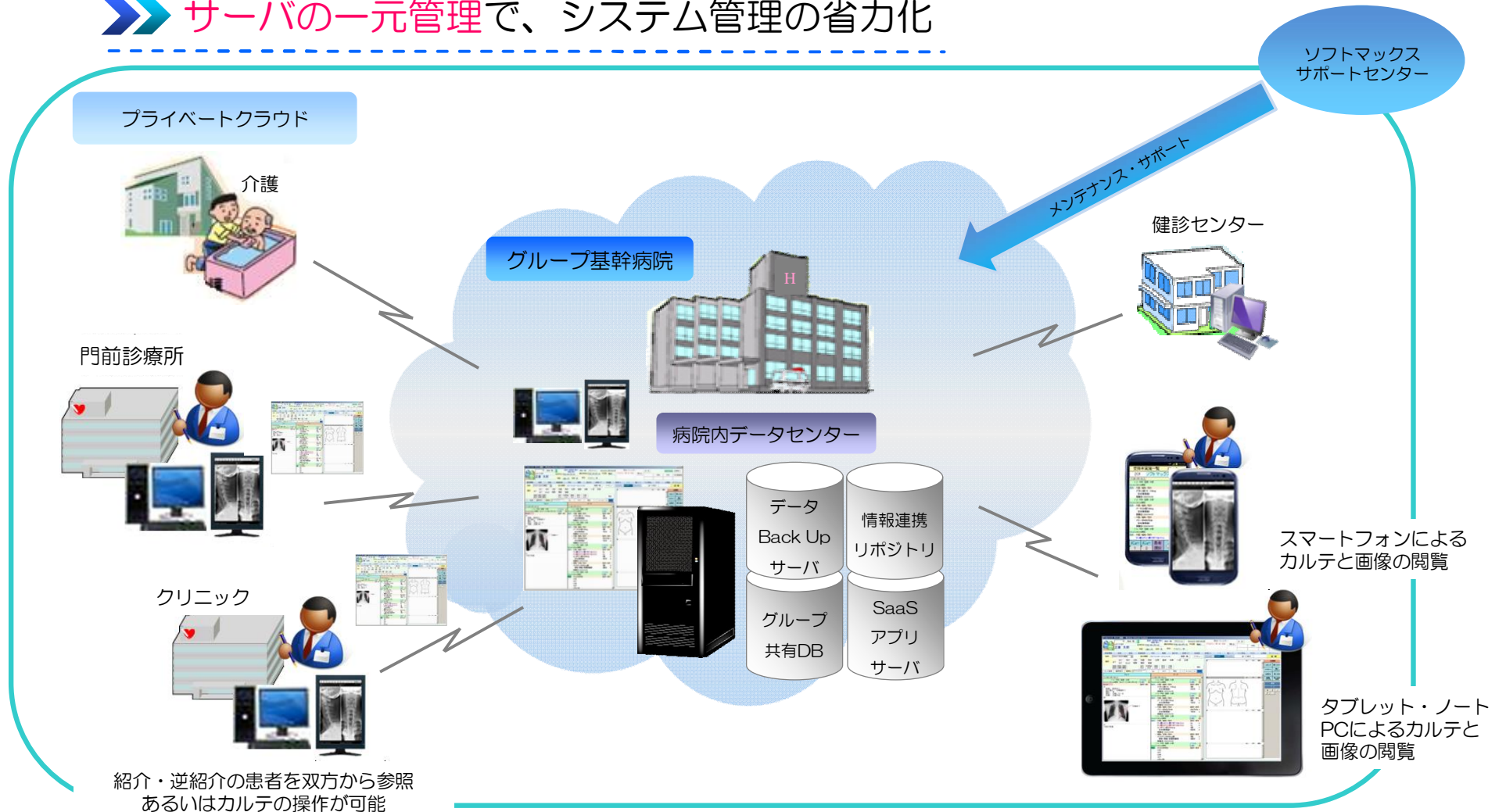


※1.インフォームドコンセントとは、医師が患者に診療の目的・内容を十分に説明した上で、患者の同意を得ることを意味しております。

※2.レセプトとは、診療報酬請求明細書のことであり、患者が受けた保険診療について、医療機関が公的機関に請求する医療報酬の明細書のことを意味しております。



- ▶▶ 同一グループ病院・介護施設・診療所でカルテ情報を共有
- ▶▶ サーバの一元管理で、システム管理の省力化



II. 業績報告

2020年12月期第2四半期決算概要



上期において、2期連続増収増益を達成

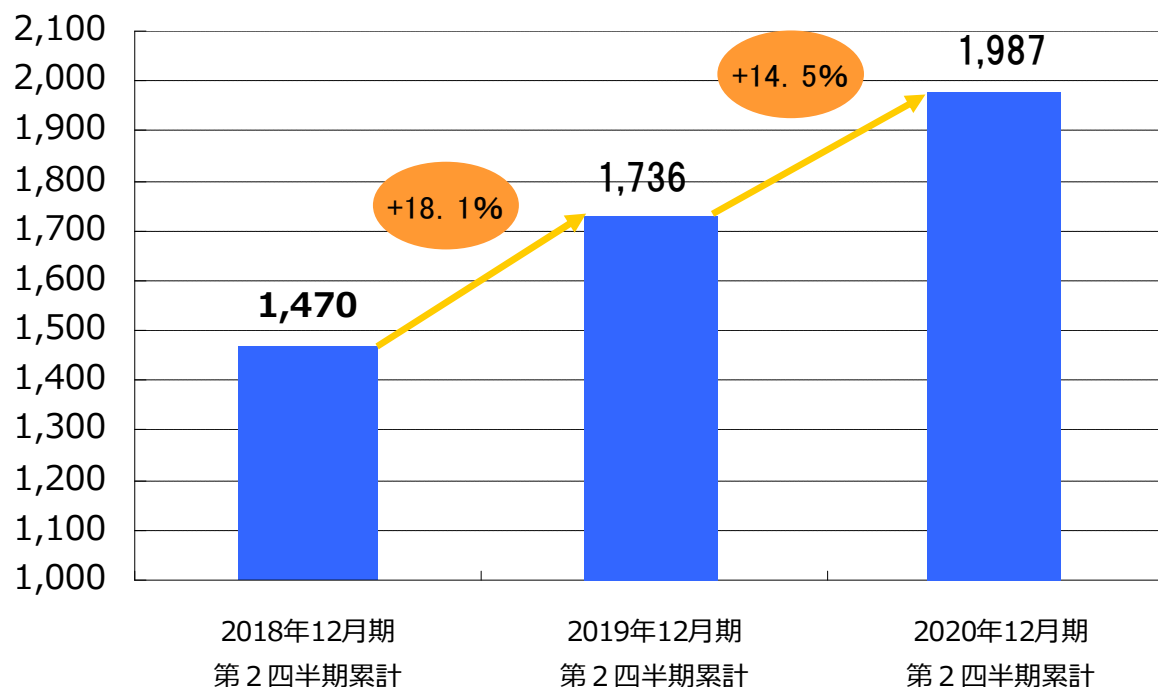
(単位：百万円、下段は構成比)

	2019年12月期 第2四半期 累計	実績	2020年12月期 第2四半期累計	
			前期比	主な増減要因
売上高	1,736 (100.0%)	1,987 (100.0%)	114.5%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ システムソフトウェア販売高の増加 (+ 76百万円) ◆ ハードウェア販売高の増加 (+ 147百万円) ◆ 保守サービス等売上高の増加 (+ 27百万円)
売上総利益	504 (29.1%)	541 (27.2%)	107.2%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上高の増加 (+ 251百万円) ◆ 売上原価の増加 (▲ 214百万円)
営業利益	100 (5.8%)	125 (6.3%)	125.2%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上総利益の増加 (+ 36百万円) ◆ 販売費及び一般管理費の増加 (▲ 11百万円)
経常利益	111 (6.4%)	147 (7.4%)	132.5%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 営業利益の増加 (+ 25百万円) ◆ 営業外収益の増加 (+ 15百万円) ◆ 営業外費用の増加 (▲ 4百万円)
四半期純利益	57 (3.3%)	100 (5.1%)	174.9%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 税引前四半期純利益の増加 (+ 52百万円) ◆ 法人税等の増加 (▲ 3百万円) ◆ 法人税等調整額の増加 (▲ 6百万円)



上期において、2期連続売上高成長率10%超増加

(単位：百万円)



◆ 2020年12月期の売上計画

(単位：百万円)

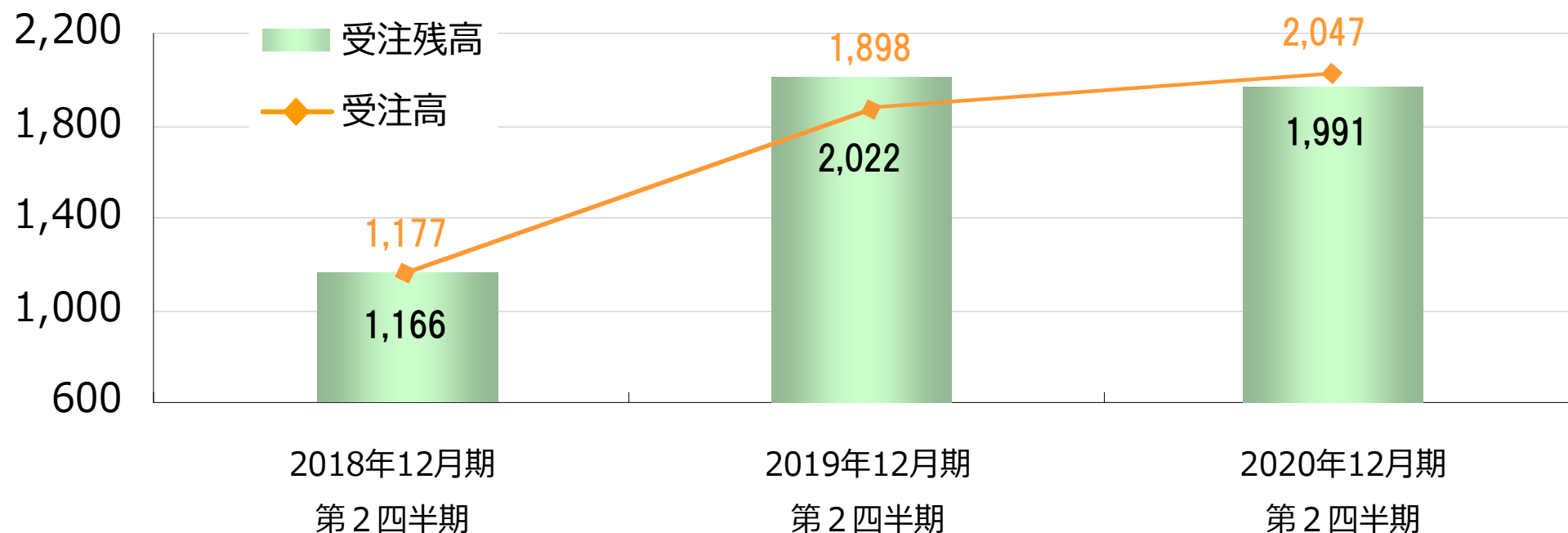
	下期 (2020.7~2020.12)	通期 (2020.1~2020.12)
	公表計画	公表計画
売上高	2,576	4,450



受注実績・受注残高

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部、医療機関への入館規制等の影響があったものの、非接触型の電子カルテ等医療情報システムのニーズは好調。

(単位：百万円)



Ⅲ. 事業環境等



次世代ヘルスケアシステムの構築

- ◆「オンラインでの医療」全体の充実に向けた所要の制度的対応

未来投資戦略2018（首相官邸2018.6.15）

データヘルス改革推進によるPHR拡充

- ◆「保険医療データプラットフォーム」の運用を実現

*PHR（Personal Health Record）：

個人の健診結果や服薬履歴等の情報を、電子記録として本人や家族が正確に把握するための仕組み

経済財政運営と改革の基本方針2019（閣議決定2019.6.21）

オンライン資格確認導入のための資金支援

- ◆医療情報化支援基金の創設

医療情報化支援基金ポータルサイト：<https://www.iryohokenjyoho-portalsite.jp/>

*オンライン資格確認：マイナンバーカードのICチップまたは健康保険証の記号番号等によるオンラインでの資格情報確認



▶▶ 新たな日常に対応した医療提供体制の構築

- ◆ 地域の医療ニーズ踏まえ、各都道府県が医療機関の機能分化・連携等を推進
- ◆ データ利活用やオンライン化を加速、PHR拡充等データヘルス改革を推進
- ◆ オンライン診療や電子処方箋に要するシステムの普及促進

経済財政運営と改革の基本方針2020（閣議決定2020.7.17）

⇒医療分野のICT化、オンライン化が加速

⇒非接触型のシステムに注目が集まる

▶▶ 当社の対応






- ◆ オンラインによるプレゼン
- ◆ リモートによる保守サポート
- ◆ オンライン資格確認に対応したシステム改修・機能追加
- ◆ テレワーク、社員の体調管理



IV . 今後の成長戦略



主戦場である電子カルテ市場の急成長

病床規模	電子カルテ 導入施設 ^{※1}	構成比	施設数 ^{※2}	導入率
20~99床	646	19.5%	2,977	 21.7%
100~199床	1,070	32.3%	2,813	 38.0%
200~299床	537	16.2%	1,093	 49.1%
300~399床	446	13.5%	701	 63.6%
小計	2,699	81.5%	7,584	 35.6%
400床以上	612	18.5%	788	 77.7%
全体	3,311	100.0%	8,372	 39.5%

当社のターゲットは、
電子カルテ未導入の
約5,000施設
(全体の約60%)

※1) 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会による資料を元に作成(2019年4月1日時点)

※2) 厚生労働省医療施設動態調査より作成(2018年10月1日時点)※2020年8月31日時点において公開されている最新の情報



販売体制の強化・ブランド力のアップ

- ◆ 営業エリアの拡大（東日本地域のシェア拡大）
 - ⇒営業要員の拡充
- ◆ 戦略的な営業アプローチ
 - ⇒ターゲットを明確にした組織体制づくり
- ◆ 他社との提携によるアライアンスビジネスの確立
 - ⇒事例：(株)ソラストとの業務提携

営業対象のフォーカス化・絞り込み

- ◆ 利益率の改善（コスト削減による）
- ◆ 有力グループ病院へのクラウド拡販
- ◆ 透析等専門病院に特化した営業推進
- ◆ 他社リプレイス推進

開発体制・システム機能強化

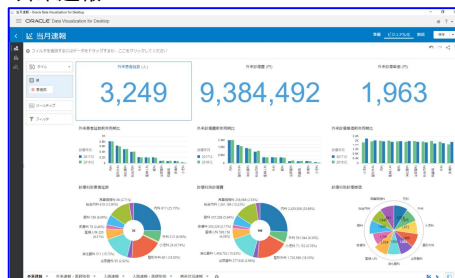
- ◆ 人材の採用・育成の充実
- ◆ システム機能の強化
- ◆ アフタ・カスタマーサービスの強化

【PlusUsエリア別導入実績：473件】
(2020. 6. 30現在)



データ活用で可視化し、意思決定を迅速化

外来速報



外来医師その他



入院速報



入院医師その他



病床状況速報



収益統計



※BIとはビジネスインテリジェンスのこと。企業内に蓄積された膨大なデータを統合・分析・管理し、企業の意思決定に活用するシステムや概念の総称。データウェアハウス・データマイニング・オンライン分析処理などが含まれる。

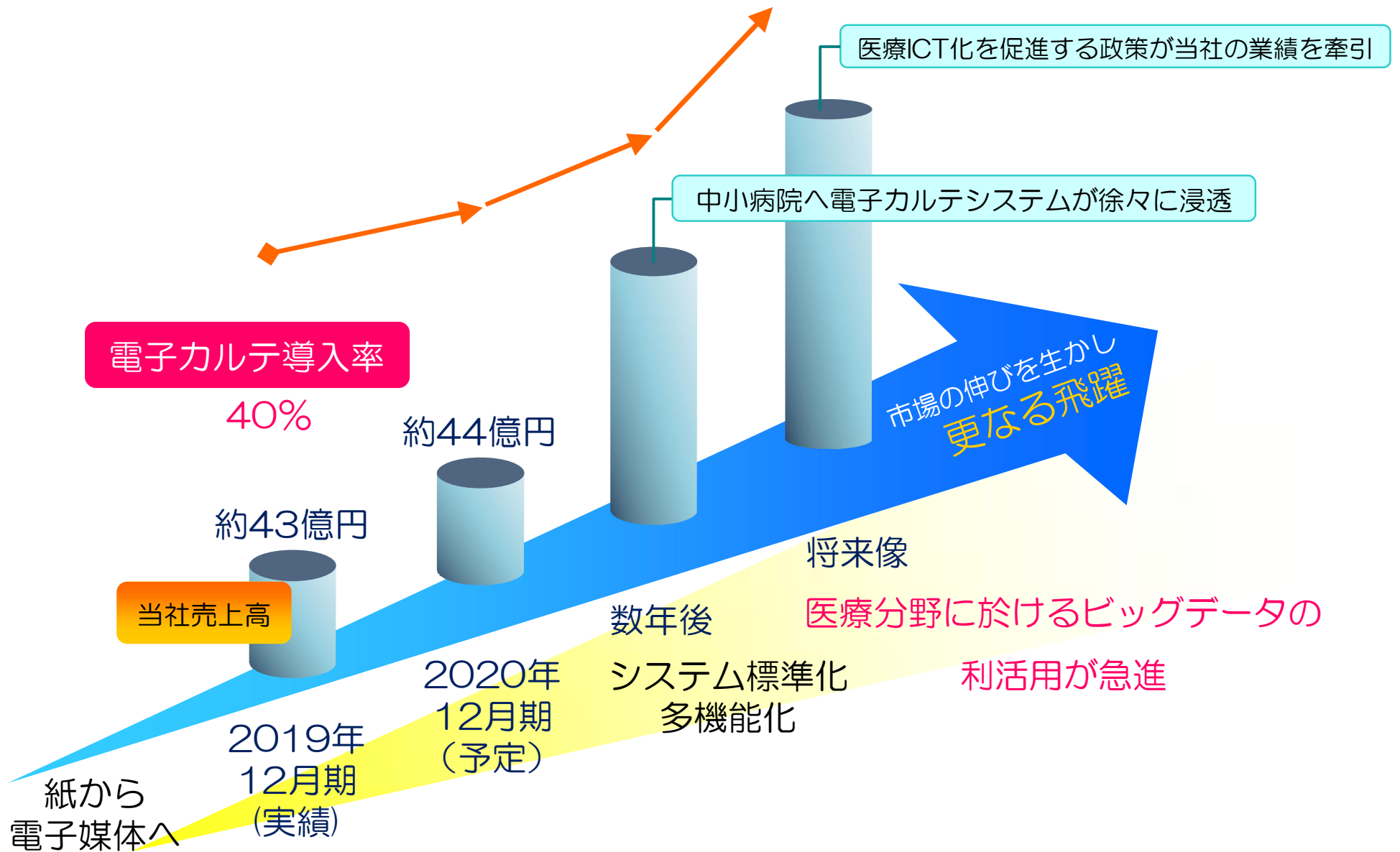
▶▶ 地域包括ケアでの医療・回復期リハ・健康・介護を 一体連携化



地域包括ケア



成長市場を取り込み更なる飛躍へ





ご視聴ありがとうございました。

本資料のご説明内容に関しまして、ご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

[本社] 東京都品川区北品川4-7-35
御殿山トラストタワー7階
03-5447-7772

[本店] 鹿児島市加治屋町12-11
099-226-1222

[メール] info-ir@s-max.co.jp

